

医学情報の研究利用に関するお知らせ

課 題 名	亜鉛不足等の栄養障害を早期に発見する方法の開発につながる調査
	J R九州病院に入院された患者さまのカルテ情報を抽出し、その集計結果をもとに、栄養障害を早期に発見する方法を開発します。
目 的	栄養障害は、重症化して味覚障害、夜盲症、貧血などの症状が現れるまで気づかれないことがあるため、早期発見できる方法の開発が望まれています。現在、ヘモグロビンや塩素イオンなどの血液検査の結果が亜鉛欠乏と密接に関係することが明らかにされつつあります。更にこれらの基本検査の結果をもとに、亜鉛を実測する前に、低亜鉛血症を高い感度と特異度で推定する方法が開発されています。今回、これらの知見が多くの医療施設でも同様に観察され、開発中の亜鉛欠乏推定法が適用できるのかどうかを検討します。
対 象	2013年7月1日から2013年12月31日までに、JR九州病院に入院されたことのある方で、入院中に血清亜鉛を測定された方
調査方法	血清亜鉛濃度やアルブミン濃度などの栄養指標とともに、このほかの血液検査データ、年齢、性別、疾患等の情報を統計解析します。
個人情報について	データの保護は個人情報保護法に従って行い、個人が特定されるような情報（氏名、住所など）は一切含まれません。また、研究の結果を栄養学関係の学会や専門誌などに発表する場合でも個人を特定できる内容は含みません。

上記の研究対象に当てはまると思われる方で、当院に保管されているご自身の診療情報を研究に使わないで欲しい、というご希望がございましたら、【お問い合わせ先】の担当者までお申し出くださいますようお願いいたします。

なお、このお知らせは、当該情報に関する研究が終了するまで院内に掲示いたします。この間に研究協力に不同意の意志表示がない方を調査対象とさせていただきます。なお、研究協力に不同意の意志を表明される等、いかなる場合でもご本人が不利益を被ることはありません。

【お問い合わせ先】

J R九州病院 担当医・研究担当：麻酔科 瀬戸口 薫

中央検査室 赤池 一男

電 話：093-381-5661